

証券コード:7733

OLYMPUS

OLYMPUS VISION

2022年3月期 中間株主通信

2021年4月1日～2021年9月30日



CEO MESSAGE



オリンパスは企業変革を推進し、 医療の技術革新を通して 社会課題の解決に貢献し続けます”

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、この世界的な危機に対応されている世界中の多くの医療従事者の皆さまに感謝申し上げます。オリンパスグループは、「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」という経営理念に基づき、お客さまや患者さんに新しい価値を提供することを追求してまいります。

竹内 康雄

代表執行役 社長
兼CEO(最高経営責任者)



真のグローバル・メドテックカンパニーに向けて

当社は、真のグローバル・メドテックカンパニーへの飛躍を目指し、企業変革プラン「Transform Olympus」と経営戦略を2019年から実行しています。今期も引き続き企業変革の取り組みを実行するとともに定着に向けてさまざまな施策を検討・実行してまいります。そのうちのいくつかの施策について、今期のこれまでの進捗をご紹介します。まず、科学事業の分社化について、その後の事業譲渡等を含むあらゆる選択肢を視野に入れたうえで検討をしています。また、グローバルなオペレーティングモデルをサポートする、グローバルビジネスサービス(GBS)の推進や、オリンパスシステムズ株式会社のアクセンチュア株式会社への譲渡も実行しました。IT分野で世界をリードするアクセンチュアの知見を活用し、同社の中でスキルをさらに高めることで、グローバルIT基盤の更なる強化やITコストの最適化等に関わるサービスを当社に提供いただきます。さらに、コーポレート・ベンチャー・キャピタル「Olympus Innovation Ventures」を設立しました。差別化された技術を持つアリーステージの企業をグローバルに探索し、投資につなげていくため、今後5年間で総額5,000万ドルを投資してまいります。

2022年3月期は、「グローバル・メドテックカン

パニーとしての深化」を図るフェーズと捉えており、企業変革を推進するとともに、医療技術の革新を通じ、医療従事者や患者さんに新たな価値を提供することで、社会に貢献してまいります。

2022年3月期第2四半期累計実績と 通期業績見通し

当第2四半期累計実績について、簡単に振り返りたいと思います。連結売上高は4,131億円となりました。市場の回復を受け、医療分野を中心とした全事業で売上が増加し、連結で+31%の大幅成長となりました。これは、パンデミック前の2020年3月期と比較しても+12%であり、堅調な推移となっています。営業利益は、四半期報告書の開示を開始した2009年3月期から額・率ともに過去最高となる763億円(18.5%)となりました。親会社の所有者に帰属する当期利益は624億円でした。前期は映像事業の譲渡に伴う損失もあり、今期は前年同期比で851億円の大増収となっています。第3四半期以降も市場環境の回復が継続することを見込んでおり、2022年3月期の通期業績は、全社でパンデミック前の2020年3月期を超える水準となる見通しです。内視鏡事業と治療機器事業を合わせた医療分野では過去最高の売上高を見込んでいます。営業利益については、額は1,440億円、率は約17%と、こちらも過去最高となる見込みです。

2022年3月期 第2四半期累計実績および通期業績見通し 連結業績

	2021年3月期 第2四半期累計	2022年3月期 第2四半期累計	前年同期比	2022年3月期 通期見通し
売上高	3,165億円	4,131億円	+31%	8,560億円
営業利益	303億円	763億円	+152%	1,440億円
親会社の所有者に 帰属する当期利益	△227億円	624億円	+851億円	1,090億円

業績の推移

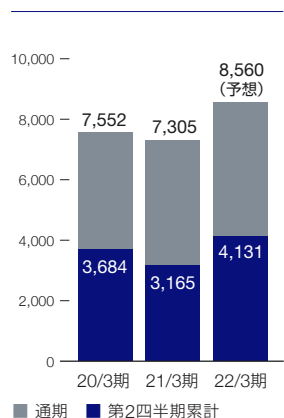
1

市場回復を受けて、医療分野が牽引し、FY2020(パンデミック前)と比較しても大幅な成長

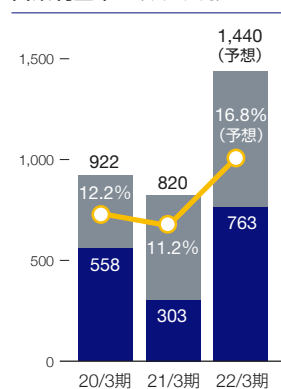
2

費用統制の継続や販管費の効率化を図ることにより、額・率ともに過去最高の見込み

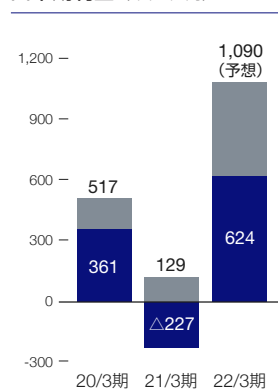
売上高*1 (単位:億円)



営業利益および営業利益率*1 (単位:億円)

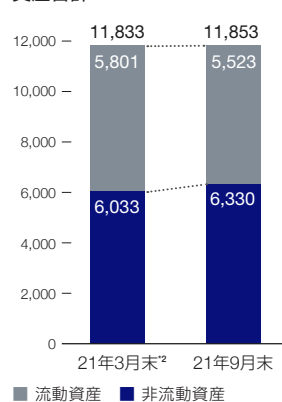


親会社の所有者に帰属する四半期利益 (単位:億円)

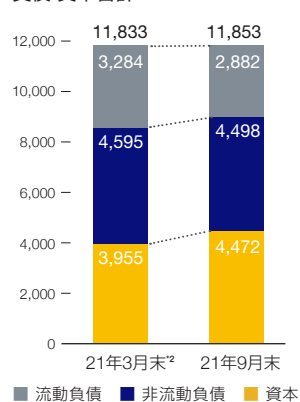


財政状態 (単位:億円)

資産合計



負債・資本合計



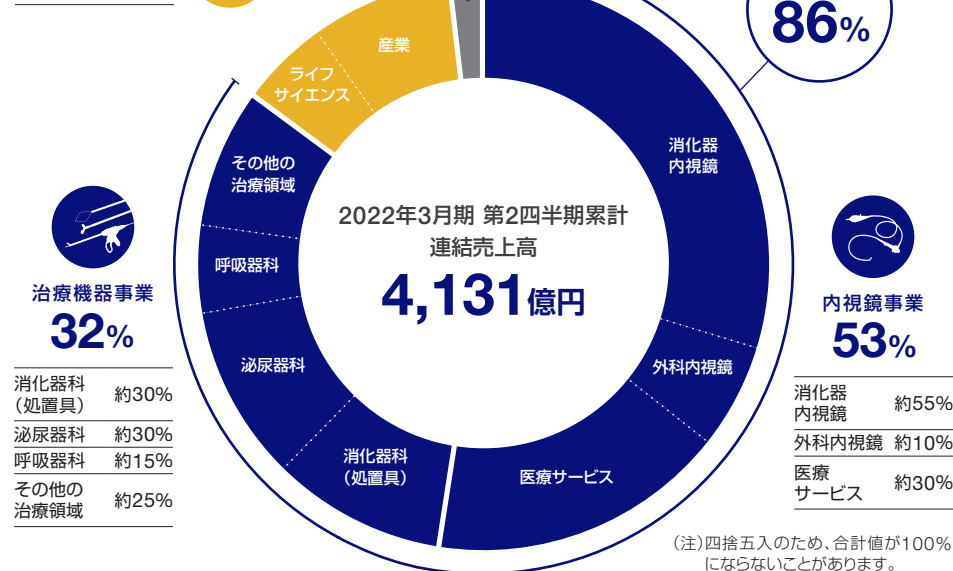
*1 「売上高」と「営業利益および営業利益率」の数値は、継続事業の数値を記載しております。

*2 2021年3月期に発生したVeran Medical Technologies社、Quest Photonic Devices社の企業結合について、第1四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間において暫定的な金額の修正を行っています。これに伴い、2021年3月期の数値を遡及して修正しています。

事業別の概況

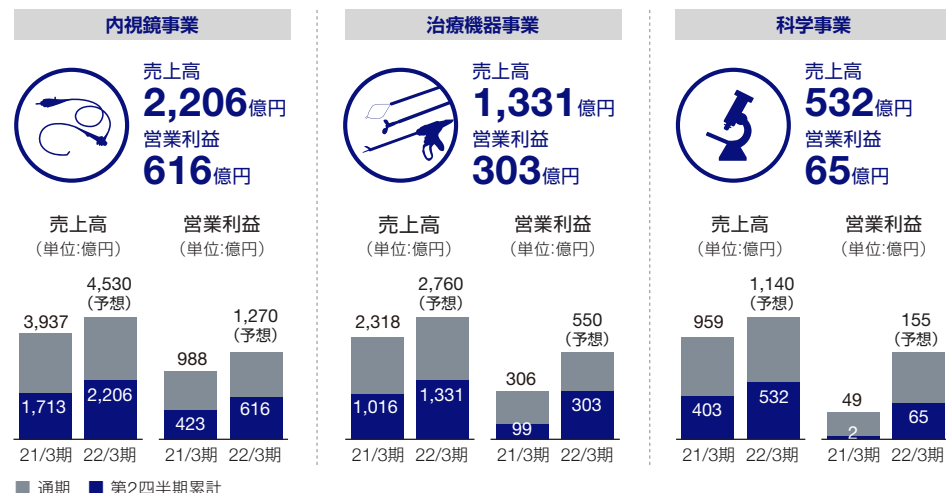
ライフサイエンス 約40%
産業 約60%

科学事業 13%



(注) 四捨五入のため、合計値が100%にならないことがあります。

2022年3月期 第2四半期累計実績



「INVESTOR DAY 2021を開催しました」

2021年12月7日(火)にOLYMPUS INVESTOR DAY 2021をオンラインで開催しました。当日はCEOの竹内 康雄、COOのナチョ・アビアより、2019年にTransform Olympus、経営戦略を発表してからこれまでの振り返り、現在の経営戦略を深化させた医療ビジネスの今後の方向性等について、説明をいたしました。当日のプレゼンテーションは下記のリンクよりご確認ください。

INVESTOR DAY 2021
<https://www.olympus.co.jp/ir/data/investor-events.html>

当社では、持続的な成長を実現するための土台作りとして、2023年3月期に営業利益率20%超という財務ガイダンスを経営戦略の中で掲げております。売上高の成長や販管費の効率化、全社横断で変革を目指すTransform Olympusの推進等、さまざまな取り組みによってこの達成に向け取り組んでいます。INVESTOR DAYでは、2023年3月期の財務ガイダンスの達成に向けた取り組みの振り返りと進捗、そして、その先のさらなる成長と収益性向上を図るための指針として、下記の3点をご説明しました。対象となる疾患の診療水準を高めることにより、患者さんのアウトカム向上を目指してまいります。

Focus 診療水準の向上により、最終的に患者さんのアウトカムの改善を実現できる分野に注力します。

Shape 患者さんが体験する診療プロセスのさまざまな段階で、当社の関わりを拡大する機会を模索します。ケアパスウェイを重視するアプローチにより、医療の未来を創造する、主導的な役割を担う機会を獲得します。

Enable グローバルかつ迅速に目標を達成できるよう、オペレーションを強化します。

Thank you

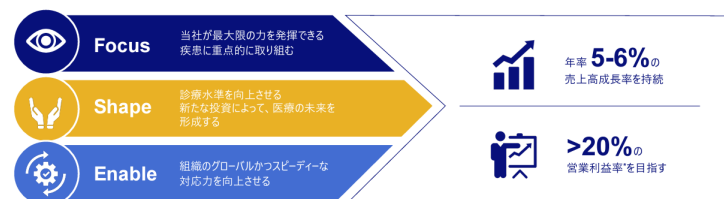
OLYMPUS INVESTOR DAY 2021

登壇者: 竹内 康雄、ナチョ・アビア
 Q&A: CEO・COO・CTO・CFO・CAO



経営目標の達成と、売上と収益性を持続的に向上させることに邁進

対象疾患における診療水準の向上に貢献し、患者さんのアウトカムを改善
 2024年3月期以降も、売上成長、コストレバレッジの改善そして効率的なバランスシートの実現を目指す



*特異疾患別

Page 52 No data copy / No data transfer permitted

OLYMPUS

ドクター・従業員へのインタビュー記事のご紹介

医療事業戦略:中国市場、 ドクターの視点

統合レポート2021を
ご覧ください



中国医学科学院
 腫瘍病院内視鏡科
 主任/博士課程指導医
 王 貴齊先生



南方医科大学附属
 南方病院 消化器内科
 韓 澤龍先生

Transform Olympus の概要、リーダーの視点

統合レポート2021を
ご覧ください



Go-to-Market
 トランスフォーメーション
 コマーシャル
 エクセレンスリーダー
 ミゲル・ホドラ



End to End サプライチェーン
 トランスフォーメーション
 サプライチェーンセンター
 オブエクセレンスリーダー
 片山 友美

https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2021j_09.pdf

https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/pdf/integrated_report_2021j_19.pdf

主な製品と対象の病気

消化器内視鏡

胃カメラの実用化	市場規模 (億円)	市場の ポジション
世界初	3,500~3,700	No.1

主な製品



消化器内視鏡システム



スコープ(軟性鏡)

画像は大腸用ビデオスコープ

消化器科(処置具)

市場規模 (億円)	市場の ポジション
3,000~3,500	No.2

主な製品



ERCP・超音波製品群

ERCP:内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
内視鏡を用いて行う胆道や膵管の検査方法



EMR・ESD製品群

EMR:内視鏡的粘膜切除術
隆起が少ない・平らな早期の腫瘍などの病変を切除する方法
ESD:内視鏡的粘膜下層剥離術より広範囲の病変部を切除できる方法

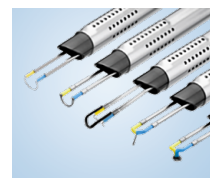
泌尿器科

市場規模 (億円)	市場の ポジション
2,800~3,500	No.2

主な製品



軟性膀胱鏡



切除用電極

主な病気

前立腺肥大症、
尿路結石、膀胱腫瘍(膀胱がん)

前立腺肥大症は、膀胱の下にある前立腺が肥大して、尿道を圧迫し、排尿障害を起こす病気です。一度に出る尿の量が減るのでトイレに行く回数が増え、残尿感などの症状が出ます。

オリンパスは、肥大した前立腺を電気メスで切除する手技に対応する切除用電極、高周波焼灼電源装置に加え、診療所やクリニックでの日帰り治療が可能な非切除デバイス販売しています。

呼吸器科

市場規模 (億円)	市場の ポジション
600~800	No.1

主な製品



気管支鏡



ディスポーザブル
吸引生検針

主な病気

肺がん、
慢性閉塞性肺疾患(COPD)

肺がんは、気管支や肺の上皮に発生する悪性腫瘍です。喫煙などを背景として増加しており、がんの中でも死亡率が世界1位*となっている疾患です。昨今では低線量CT検査の普及・拡大により、肺野部(気管支末梢領域)の病変が発見されることが増えてきています。これに伴い、病変部の組織や細胞を採取し確定診断を行うため、気管支鏡検査が行われる機会が増えてくると予想されます。

主な病気

大腸がん、
胃がん、膵臓・胆道系疾患

大腸がんは食生活の欧米化した日本では増加傾向にあります。大腸がんには直腸がんと結腸がんがありますが、特に結腸がんが急速に増加しています。動物性の脂肪を摂ると、消化を助けるために胆汁酸が多く分泌されます。脂肪の消化の際に発生する物質のなかに発がん物質があり、大腸の粘膜にがんが発生すると考えられています。代表的な症状は、血便、便秘異常(便秘、下痢)、腹痛です。

2020年のデータでは年間約190万人の方が新たに罹患し、約90万人の方が亡くなっていると報告されており、今後もこの数は増加が見込まれます。早期がんは2センチ以下の小さながんがほとんどで、症状もないことが多く、肛門出血に気づいて検査するか、大腸がん検診で見つかるケースが増えています。がんが広がっていない初期の段階で見つければ治る確率が大幅に高まるため、がん検診は早期発見・早期治療のために非常に重要です。この大腸がんの診断・治療等のために大腸内視鏡検査は年間約5,000万件実施されており、そのうち多くで当社の製品が使われています。

(注)本ページの市場規模は2021年3月末時点、自社調べ。

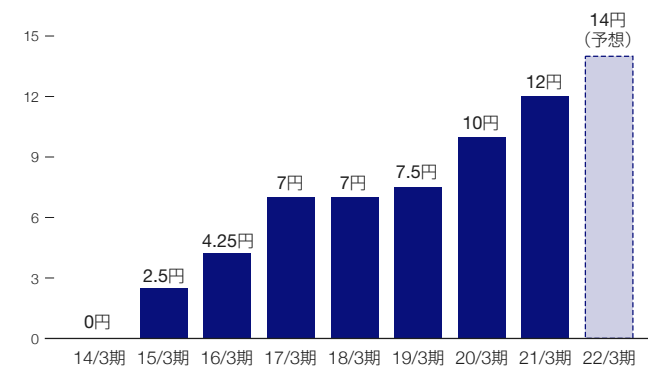
* WHO がん統計データ:
<http://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/cancer>

株主還元の方針

当社は、株主価値向上及び、株主の皆さまのご期待に応えるため、下記の方針に基づき、キャッシュアロケーションを行っております。安定した財務基盤の確保を前提とし、医療分野を中心とした成長領域への投資に優先的に活用した上で、安定的な株主還元を実施することを基本方針としています。



1株当たり配当額の推移



(注) 2020年3月期以前の配当額についても株式分割を行ったと仮定した金額にて記載。

企業情報サイトのご案内

「サステナビリティ」

ガバナンス・社会・環境側面の詳細なデータを掲載しています



<https://www.olympus.co.jp/csr/>

「統合レポート2021」

経営戦略の進捗やオリンパスの目指す姿、コーポレートガバナンスの状況を解説しています



<https://www.olympus.co.jp/ir/data/integratedreport/2021.html?page=ir>

「オリンパスの医療分野」

当社医療分野の強みや基本的な知識を紹介しています



<https://www.olympus.co.jp/ir/data/medical.html?page=ir>

「おなかの健康ドットコム」

おなかまつわるさまざまな病気を紹介するとともに、がん検診制度や内視鏡検査について解説しています

おなかの健康ドットコム

<https://www.onaka-kenko.com/>

OLYMPUS

オリンパス株式会社 (証券コード:7733)

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス
(03)3340-2111(代表) <https://www.olympus.co.jp/>

